



うがくぶんこ 雨岳文庫ニュース

第 19 号

発行：平成 30 年 1 月 吉日

発行人：雨岳文庫

<http://www.ugakubunko.com>

本年もよろしくお願ひします

新春の候、皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。今年も大変穏やかな元旦を迎えることができました。

さて、「雨岳文庫」が公益財団法人として認定され、3年目になりました。また、NPO法人雨岳文庫を活用する会については「雨岳ガイドの会」と「雨岳民権の会」の活動が一層活発になり、充実した様々な活動が行われています。一方で、昨年の夏より3か月に一度程度の割合で、今後のNPOのあり方や財団との関係などについて課題を整理するために、NPOの各会や財団の関係者が集まって話し合いを続けています。今後も関係諸団体と連携しながら一層充実した活動をするために、皆様方のご意見を頂戴することもあるかもしれません。引き続き、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって幸多き年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

平成 30 年 1 月 吉日 公益財団法人雨岳文庫 理事長 野崎 昭雄



平成 30 年元旦、昇る朝日に赤く染まる大山

昨年秋以降の事業や来館者など

秋以降に(公財)雨岳文庫とNPO法人雨岳文庫を活用する会などが連携して様々な事業を行い、たくさんの方に来館して頂きました。また、友好団体による雨岳文庫を活用した事業に公財やNPOが協力して行った取組もありました。

雨岳ガイドの会

文化財ウォーク

<伊勢原とその周辺を歩く>

「岡崎城址とその周辺」

12/16に文化財ウォークを開催しました。晩秋の里山の中に歴史を刻む「岡崎城址とその周辺」を歩き、一般参加者と雨岳ガイドの会のスタッフを合わせ、計49人が参加しました。



下見と同様に快晴の中を、一般的な歴史散策では体験できない落ち葉に埋もれた

平安・鎌倉?・戦国時代の城を守る土堀の中を歩き、この時代の城の構成を実感しました。また、大句公民館では世話役の方のご厚意で、普段は目にすることができない廻り地蔵と徳本上人の六字名号・木版印刷された大山の不動明王の掛け軸を觀賞することができました。

歴史講演会「手中明王太郎の日記」

大山寺や市内の寺社の造営を行った名工「手中明王太郎影元」の日記が、「手中明王太郎日記(上)」として出版されました。

12/2、この本の著者で現手中家当主である手中 正氏を講師に、伊勢原歴史遺産活用実行委員会主催の歴史講演会が行われました。手中氏からは、日記の内容をひもとき、幕末維新の動乱期のお話を伺いました。ペリー来航後の海防、生麦事件、戊辰戦争、東征軍(官軍)、大山寺の大火と再建、神仏分離の経緯など手中明王太郎が体験した内容で、非常に興味深いお話でした。



雨岳民権の会

民権講座「伊達 時とその時代」

11/18、「民権講座」が雨岳民権の会主催で開かれ、川島敏郎氏から「伊達 時とその時代」のご講演をいただきました。伊達 時(とき)は山口家8代当主左七郎の親友で、左七郎と共に、相州最初にして最大の民権結社「湘南社」結成し、その幹事を務めました。

川島氏からは、伊達 時が、多くの有力者と共に、この地域の産業や交通、医療、学校の基礎創りに貢献したことを、彼の日記の読み解きを通して説明され、明治の時代背景についても解説いただきました。講演の聴講者からも活発な質問もなされ、貴重な時間となりました。



民権散歩と学習会

10/21、雨岳民権の会主催で、午前中は「湘南社」民権散歩を行い、午後はこれに引き続いて、学習・解説会を開催しました。雨天にもかかわらず、30人を超す皆さんが参加して下さいました。

午前中の民権散歩では、「伊勢原の赤ひげ先生」江口治郎人(じろんど)の足跡をたどりました。

午後は、「大山道」、「権田直助」、「湘南社の憲法論議」の講義と、ハワイでサトウキビ農場の労働者の権利を守り、最後は非業の死を遂げた「後藤 潤」のお話を聞き、新たな知見を得ることができました。なお、赤ひげ先生が使用していた「机」が現存していることが、(公財)雨岳文庫理事長の野崎氏から紹介されました。



「伊勢原の赤ひげ先生」が使っていた机

雨岳文庫グループ

(公財&NPO&友好団体 他)

雨岳文庫の収穫祭

11/12、好天に恵まれ、毎年恒例の収穫祭を行いました。地元や東京からのお客様47家族156人の参加者を、スタッフ61人でおもてなしました。

サツマイモ掘りの後、雨岳自然の会のCanガーデン、伊勢原グリーン・インストラクターのどんぐり工作、伊勢原市立子ども科学館のシャボン玉遊びや竹とんぼ飛ばしなどで遊びました。おやつコーナーでは、落花生・銀杏・しいの実焼き、焼き芋や芋の葉の茎や生姜の佃煮、手作りのこんにゃくなどが並びました。昼食時にはトン汁を提供しました。



サツマイモ掘りの様子



友好団体による雨岳文庫の活用

国登録有形文化財「山口家住宅」の公開

11/3、伊勢原市教育委員会主催の「国登録有形文化財特別公開」が開催されました。雨岳文庫もこの事業に協力し、築180年を超える幕末最後の代官屋敷「山口家住宅」を公開し、多くの来館者の皆様がガイドの会が案内しました。来館された皆さんからは「素晴らしい家ですね」という感激のお言葉もいただきました。



能を知るたのしみの会（第3回）

10/1に「能を知る楽しみの会」が開催されました。観世流能楽師で重要無形文化財能楽の資格を持たれている加藤眞吾氏から、能楽とその体験、能の持つ意味などについて分かりやすい解説をいただき、約40人の参加者は能を幅広く楽しめたようでした。

また、プログラムの前後には茶会の皆さんが和服にて茶席を提供され、能の会に華を添えていただきました。



自然の会（採蜜・巣箱作り）

雨岳文庫の栗畑には、昨年4月からニホンミツバチが住み着いた巣箱があります。

10/14には、その巣箱の採蜜と、ニホンミツバチ用の巣箱作りの実習をしました。

侘楽侘楽茶会

原則、毎月第3土曜日に、侘楽侘楽(だらだら)茶会によるお茶会が開かれています。日本茶だけでなく、様々な、上等で質の良いお茶を楽しく味わいながら、お茶の話題に花を咲かせ、お茶の(で)歴史を読み解いていこうというお茶会です。

今後の展開にご期待ください

「戦前・戦中の農業改革と山口左右平 ～産業組合中央会から帝国議会へ ・その事跡と時代」(津田政行・山口匡一共著) の出版に向けて

山口家の系譜や当時の世相などに関する雨岳文庫所蔵史料の調査研究の成果が、これまでに多数発表されています。

その一つは、黒田藩士であった野田氏が、九州から上粕屋村(現伊勢原市)に移った後、当地の地頭間部家の地代官として代々仕えていた江戸時代後期に関するものです。平成27年度・28年度には、幕末及び明治初頭に活躍した7代当主作助が江戸と上粕屋村との往来時に書き留めた『山口作助日記』の研究成果物を発刊しています。

二つ目は、明治期に起こった自由民権運動の指導者として知られる8代当主左七郎に関するものです。左七郎は、大往・淘綾(ゆるぎ)両郡の郡長に就任した後、第1回衆議院議員に選出されるなど、地域を代表する立場にあり、その業績を顕彰して、昨年度に皆様のご協力により「自由民権の里 自由は大山の麓より」が建碑されました。なお、「雨岳文庫」の「雨岳」は左七郎の雅号で、大山(雨降山)のことです。

その一方で、自由民権運動などによる農村の近代化運動の締めくくりと位置付けられる、産業組合運動とその周辺の事柄には、これまであまり目が向けられていませんでした。この度、当財団監事の津田政行氏によって10代当主山口左右平とその時代の動きなどに関する論文が発表され、現在、この刊行に向けた準備が進んでいます。左右平の産業組合運動・国会活動から見えてくる、当時の農村改良運動、満州国や農地解放の歴史などが記されています。

明治期のハワイの「義人」と 山口左七郎との関係が明らかに

「後藤 潤(かつ)」は大磯町に生まれ、明治時代に「官約移民」の第一号としてハワイに渡りました。英語が得意で、サトウキビ農園で働く日本人労働者の相談に乗るなどして、慕われていました。しかし、日本人労働者の苦境を見て見ぬふりはせず、権利を守るために行動したことで白人農園経営者の反感を買い、27歳の若さで非業の死を遂げました。

現地では「義人」と伝えられる後藤 潤の生涯を伝える記録映画作りが、現在、ハワイで進められています。この映画の制作資料の中で左七郎との関係も浮かび上がったことから、12/17、この映画の監督パッツィー・イワサキ氏(日系三世)がハワイから雨岳文庫を訪れ、情報収集をされました。雨岳文庫には、後藤 潤がハワイ渡航前に左七郎宛てた手紙が5通残されています。

イワサキさんは「後藤 潤の生き方を通じて、移民の問題や人権・正義という現在に通じる課題を考える作品を作りたい」と語っていました。なお、この記録映画は来年に完成予定ということです。



ご寄付やご協力のお願い

公益財団法人雨岳文庫が所蔵する歴史資料の保存及び管理やその活用に係る事業実施のための費用については、NPO法人雨岳文庫を活用する会の会費、財団雨岳文庫へのご寄付、国またはその他の機関からの助成に頼っています。また、各事業はNPO雨岳文庫を活用する会員の皆様やその他の皆様のご厚意やボランティア活動によって実施されています。

今後も雨岳文庫に係る活動を継続していくために、皆様方のご寄付やボランティアとしてのご協力を頂ければ幸いです。詳しくは、別紙資料をご参照ください。

参加をお待ちしています！

家族そろって

昔ながらの味噌づくり (雨岳文庫グループ)

(日 時) 2/11(日) 13:00～15:00頃

(内 容) ・昔の臼や杵を使ったみそ造り
・お話と実習

(参加料) 500円/一人(中学生以下は無料)

(申込み) 2/1(木)受付開始(先着30人)

電話(95-0002:19:00～21:00)

又はファックス(91-6363)

民権講座(講演・学習会) (雨岳民権の会)

(日 時) H30年5月末 14:00～16:00

*NPO活用する会の総会終了後

※内容等の詳細については未定

文化財ウォーク (雨岳ガイドの会)

(日 時) 3/17(土) 9:00～15:00

(方 面) 下糟屋周辺

(参加費) 500円

(申込み) メール or 電話、先着45人

◆平成30年度 文化財ウォーク計画 (案)

- ・H30年5/19(土)金目観音とその周辺
- ・ " 9/15(土)青山道(海老名～厚木)
- ・ " 12/15(土)青山道(愛甲～下糟屋)
- ・H31年3/16(土)青山道(上粕屋～大山)

平成30年(2018年)前半の主な予定及び活動

H30.1.13現在

期日	行 事	主催・担当	時刻等	参加費	申込み方法等
1	14 日 梅の木の剪定体験	公財雨岳文庫 自然の会	10:00 ～12:00		メール
	28 日 山口家住宅、資料館 公開開始	公財雨岳文庫 NPO活用する会	10:00 ～15:00	300円(一般の方の入館料)	不要
2	11 日 家族そろって 昔ながらの味噌づくり	公財雨岳文庫 NPO活用する会	13:00 ～15:00	500円/人	電話 or ファックス
3	17 土 文化財ウォーク 「下糟屋周辺」	伊勢原歴史文化遺産 活用実行委員会 公財雨岳文庫 NPO活用する会	9:00 ～15:00	500円	メール or 電話 先着45人
5	19 土 文化財ウォーク 「金目観音とその周辺」	伊勢原歴史文化遺産 活用実行委員会 公財雨岳文庫 NPO活用する会	9:00 ～15:00	500円	メール or 電話 先着45人
	27 日 NPO活用する会総会	NPO活用する会	13:00 ～14:00		
	民権講座【講演・学習会】	公財雨岳文庫 NPO活用する会	14:00 ～16:00		

○山口家住宅及び資料館は、原則として、日曜日に開館しています。

○「雨岳ガイドの会」による山口家住宅の「総点検」(整理・整頓・清掃)は、原則、第1、3月曜日に行っています。

○「雨岳民権の会」の活動は、原則、金曜日に行っています。

○「古文書調査会」は、原則、毎月第2金曜日(14:00～16:00)に開催しています。無料

○「雨岳文庫クラブ」は、原則、第2・4日曜日に雨岳文庫庭内の整備等の活動を行っています。

○「侘楽侘楽茶会」は、原則、毎月第3土曜日(11:00～15:00)に開催されています。参加費2,000円

※表中の、「公財雨岳文庫」は「公益財団法人雨岳文庫」、「NPO活用する会」は「特定非営利活動法人雨岳文庫を活用する会」、「自然の会」は「雨岳自然の会」を表します。

※「雨岳自然の会」の連絡先は、『ugakusizen@gmail.com』

『田中:080-9705-3553』です。

お問い合わせ先 雨岳文庫(山口)
TEL/FAX:0463-95-0002